

“ IP無線を導入した最大のメリットは  
バスの運転者と管理する側の  
情報の共有がスムーズに

できるようになったことです

交通機関

バス



まず、バスの運転者は出庫すると、情報も運転手からの一方的な連絡のみで孤独でとても閉鎖的だったのですが、今は、スマホIP無線の個別通話やグループ通話を使ってやりとりができ、さらに営業所から運転手がどこにいるかもわかります。緊急時でも即、対応できるようになりました。

その他、お客様の荷物があつたよ、や、工事や事故で今何分ぐらい遅れているかなど、リアルタイムでの情報の共有ができるようになり、それにより、お客様からのお問い合わせなどにも迅速に対応できるようになりました。





## スマホIP無線を導入した経緯

私たち市営バスの事業計画の中で、バスの利用者へのサービス向上と、危機管理体制のさらなる構築の中で、IP無線機のように通信エリアが広く、災害時でも通信がダウンすることなく利用できる製品を探していたところ、スマホIP無線に出会いました。

## スマホIP無線を選んだ理由

IP無線機・ドライブレコーダー・バスロケーションシステムなどの通信費用（携帯キャリアの通信）で毎月かかるランニングコストをどうにか一本化したいと考え、アプリを利用することでそれらのコストをかなり抑えることができるため本製品を選びました。



## ランニングコストが 大幅削減に

今回初めて市営バスに無線機を導入することになったのですが、貸切バスの方では以前固定型の無線機を利用しては、それらと比べると初期費用は半分以下になりました。

今後、サービス向上のためのドライブレコーダーやバスロケーションシステムなどを、スマホIP無線と同じスマホで活用していくことで、将来的にランニングコストは大幅削減になる見込みです。

## “インバウンドのお客様のために、翻訳機能を活用しよう”と検討中です

IP無線はリアルタイムにバスの位置情報を取れるので、今後、バスロケーションシステムに活用できたらと検討しております。また、インバウンドのお客様も増えてくると思いますので、新機能である翻訳機能など、今後、活用の幅が広がっていくと思います。



### 以前はここが不満でした！

バスの遅延や荷物をお忘れになったお客様などからのお問い合わせが営業所に来た場合、バスの運転者の私物の携帯電話に連絡していたのですが、その連絡に気づけなかったり、終点に着かないとやり取りできなかったりで、今どの辺りにいるのか、本当に忘れ物や落し物があるかの確認が取りにくいことでした。



### スマホIP無線だからできた事

2015年12月から本製品を使用しているのですが、後からJアラート受信の仕組みが必要になりました。北九州市交通局では、新たな機材を購入することなく、スマホにアプリをインストールするだけで、Jアラート受信の実現することができました。これは、スマホIP無線にしかできないことだと思いましたね。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: [www.science-arts.com](http://www.science-arts.com)  
Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)  
お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

